



# 鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの  
岡山市立鹿田小学校



令和3年度 第14号 11月2日



## 色づく秋、深まりゆく秋



山の木々が色づいてきました。『秋の夕日に照る山紅葉 濃いも薄いも数ある中に 松をいろどる楓や蔦は 山のふもとの裾模様』童謡「紅葉（もみじ）」です。着物の裾（すそ）は、山では「ふもと」、つまり山の下の方にあたります。秋の美しい夕陽の中、山の下の方が松の緑と楓や蔦などの赤や黄色に彩られて、まるで着物の裾模様のようだ、というような意味でしょうか。私は山の紅葉を見ると、いつもこの歌が頭の中に流れてきます。

先日の新聞に、『中学生不読率12.8%』という記事が載っていました。1か月に1冊も本を読まない中学生の割合で、岡山県教育委員会が行った調査です。鹿田小学校の子どもたちには読書好きな子が多く、昨年度のデータでは、1年間で一人当たり82冊の本を図書館で貸し出しています。しかし、高学年になると学校以外では1週間に1冊も本を読まない子どもが増え、6年生では20%です。残念・・・。深まりゆく秋、テレビやゲームから目を離して、家族そろって本を読んでみてはいかがでしょうか。

### 今年の目標 ～1年生編～

遅くなりましたが、2学期になって書いてもらった1年生の今年の目標を発表します。「元気」「勉強」「親切」のそれぞれに、一人一人が頑張ることを決めました。

#### 【元気】

一番多かったのは「外で遊ぶ。運動する。」の49人。続いて多かったのは「マスクや手洗いをする。」の24人。「早寝・早起きをする。」の10人でした。時間や回数など具体的に考えている子もたくさんいました。



#### 【勉強】

一番多かったのは「漢字を覚える。」の49人。続いて多かったのは「算数や計算」の31人。「国語」の14人でした。「日記や作文が長く書けるように頑張る。」「九九を覚える。」などの目標もありました。



#### 【親切】

目標の中に多く出てきた言葉は、1位が「友達」で61回、2位が「助ける」で30回、3位が「優しく」で25回でした。「ハッピー語を毎日言う。」「友達が喜ぶことをする。」という目標もありました。



※1年生163人が答えてくれました。

### 岡山市学童陸上記録会 ～シティーライトスタジアム～

10月30日（土）に気持ちのよい秋晴れのもとで行われました。1週間前からの健康観察や観覧者の人数制限など、感染症対策を講じての開催となりました。記録会には、校内記録会で標準記録を突破した5年生1名、6年生3名の計4名が参加し、大きくてきれいなスタジアムでベストを尽くしました。



### 卒業に向けて

右の写真は6年生の卒業アルバム用の全員集合写真です。中庭で写しました。卒業アルバム用の写真は1学期から撮り始めていて、委員会やクラブ、グループ写真などを撮り終えました。今後は、個人写真やクラス写真などを撮る予定にしています。卒業へのカウントダウンが始まっています。



### 自主学習表彰 9,10月分

今年3回目の自主学習表彰をしました。各クラスで選ばれた自主学習は、どれも時間をかけてじっくり取り組んでいるのがよく分かります。11月からはよいよ2年生も参加します。



### 学年別リレー集会 ～パート2～

学年別リレー集会が終わりました。途切れ途切れではありますが、春から練習を積み重ねてきた成果を発揮して、どの学年もよく頑張りました。特に高学年は、ダイナミックな走りや息のあったバトンパスを見せました。平日にもかかわらず多くの保護者の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。



3年



5年



6年

### 食育の授業公開をしました。

10月20日に4年D組を会場に行いました。食べることは健康な生活を営む上で基本となるものです。与えられたものを食べるだけでなく、よりよく食べることができるよう、自分で判断し、行動することができる子どもたちを目指しています。



### 岡山市オレンジリボンキャンペーン

オレンジリボンには、子ども虐待の現状を知っていただき、子どもの虐待をなくしていこう、子どもを救うため一人一人にできることを考え行動しよう、そして虐待を受けた子どもたちが幸福になれるようにという願いが込められています。

厚生労働省では、11月を「児童虐待防止推進月間」と定めており、民間・地方自治体・国が連携したオレンジリボンキャンペーンが全国的に広がっています。

○問合せ 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会  
TEL 803-1223

子ども虐待は家庭の中で起こるため発見が困難です。もし心配な様子や虐待に気づいたら、関係機関にご連絡ください。あなたからの連絡が子どもや家庭に支援の手が届くきっかけになります。

児童相談所虐待対応ダイヤル 189（通話無料）



### 学校長のつぶやき ～割れ窓理論～

「割れ窓理論」というのはアメリカの犯罪学者ジョージ・ケリングが考案した理論で、「建物の窓が割れているのを放置すると、その周辺の窓も破られていく。つまり、小さな犯罪を放置していると、重大な犯罪につながる。」というものです。犯罪というような大きなことでなくても、私たちの身の回りで、この「割れ窓理論」は活用することができます。例えば、ごみがたくさん落ちている場所には平気でごみを捨てることができても、ごみ一つ落ちていない場所に新たにごみは捨てにくくありませんか？ごみが落ちていない場所、それはその場所が大切にされていることを意味します。それは学校でも、地域でも、家庭でも同じです。ごみ一つぐらい、ではなく、ごみ一つも、という気持ちで心地よい環境を作りたいですね。

